

# 幼児のテレビ視聴と 録画番組・DVDの利用状況

～ 2013年6月「幼児視聴率調査」から～

世論調査部 安楽裕里子

2013年6月に実施した「幼児視聴率調査」の結果から、幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況を報告する。調査は、東京30キロ圏に住む2～6歳の幼児1,000人を調査相手に、6月10日(月)～16日(日)の1週間実施した。

幼児が1日にテレビを見る時間は1時間49分(週平均)。テレビ視聴時間は、2007年以降2時間程度で安定していたが、前年に初めて2時間を切って減少したまま、今回も回復はみられなかった。長期推移をみると午後7時台での視聴が大きく減少しており、朝は午前8時台の視聴が減少傾向であるが、午前6時台では増加傾向である。一方、幼児が録画番組やDVDを再生利用している時間は52分(週平均)。徐々にテレビと録画・DVDの視聴時間の差が狭まりつつある。

また、調査期間中によく見られた番組は、「サザエさん」「ドラえもん」など民放のアニメ番組や、「おかあさんといっしょ」「アニメ おさるのジョージ」など、Eテレの幼児向け番組であった。

## はじめに

2013(平成25)年6月「全国個人視聴率調査」(対象は全国7歳以上)<sup>1)</sup>と同時期に実施した「幼児視聴率調査」の結果を報告する。

調査は6月10日(月)～6月16日(日)の1週間、東京30キロ圏に住む2～6歳の未就学児を対象に実施した。住民基本台帳から層化無作為2段抽出した幼児1,000人(10人×100地点)に郵送法(15分単位日記式、保護者による代理記入)で行い、有効数は556人(有効率55.6%)であった。有効サンプルの構成は表1のとおりである。

本調査では、テレビ視聴と録画番組や市販のDVDなどの再生(以下、録画DVD再生)<sup>2)</sup>を日記式で調査している。前年まではこれらの視聴を「家庭内での視聴のみ」としていたが、昨今のデジタル録画機器の普及を背景に、よ

り正確な視聴状況をつかむため「家族で移動中(車中など)の視聴も含む」こととした。幼稚園や保育園での視聴は、これまでどおり含めていない。

なお、回答している保護者の95%は母親であるため、以下の本文では保護者のことを母親と表記する。

## 1. テレビ視聴状況

### (1) テレビ視聴時間

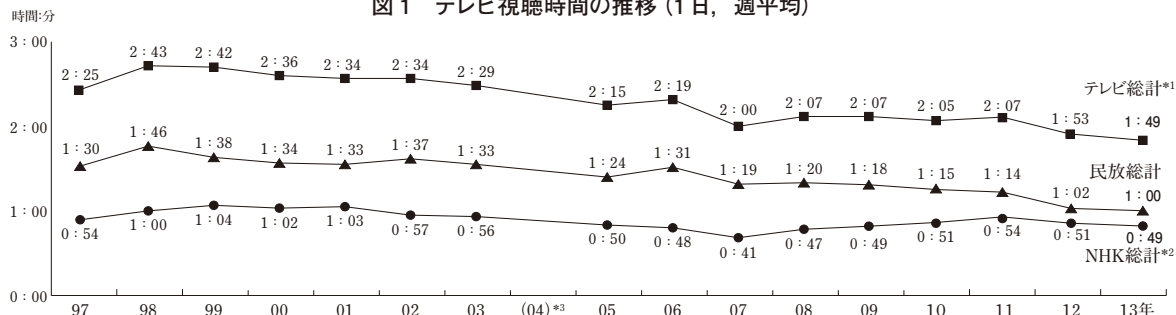
#### 2時間を切ったまま回復せず

今回、2～6歳の幼児のテレビ視聴時間は、週平均1日あたり1時間49分で前年(1時間53分)と同程度であった(図1)。これまでの長期的な推移をみると、幼児のテレビ視聴時間は1998年(2時間43分)から漸減し、2007年以降は2時間程度の水準で推移していたが、前

表1 サンプル構成

全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児	その他不明
556人	273	283	111	142	153	150	167	287	95	7
100.0%	49.1	50.9	20.0	25.5	27.5	27.0	30.0	51.6	17.1	1.3

図1 テレビ視聴時間の推移(1日、週平均)



\*1 テレビ総計は、民放総計(民放地上波と民放衛星波)とNHK総計(NHK地上波とNHK衛星波)の計  
 \*2 NHK総計のうち衛星波は2007年まではBS1・BS2の計、2008～2010年はBS1・BS2・BSハイビジョンの3波計、2011年以降はBS1・BSプレミアムの2波計  
 \*3 2004年は「幼児視聴率調査」を実施していない

表2 NHK・民放別平均視聴時間(週平均)

		(時間:分)						
		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	11年	2:07	2:04	2:09	2:08	2:12	2:10	1:59
	12年	1:53	1:48	1:56	1:57	1:47	1:46	1:59
	13年	1:49	1:51	1:48	1:39	1:52	1:54	1:49
NHK総計	11年	0:54	0:51	0:55	0:58	0:58	0:59	0:39
	12年	0:51	0:49	0:54	1:00	0:54	0:49	0:44
	13年	0:49	0:47	0:50	0:52	0:51	0:49	0:42
民放総計	11年	1:14	1:13	1:15	1:10	1:14	1:10	1:20
	12年	1:02	0:59	1:04	0:58	0:54	0:57	1:14
	13年	1:00	1:04	0:58	0:47	1:00	1:05	1:07

表3 曜日別平均視聴時間(テレビ総計)

		(時間:分)							
		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	
		13年	12年	11年					
平日	1:51	1:54	2:07	1:51	1:51	1:46	1:54	1:52	1:48
土曜	1:39	1:46	1:55	1:40	1:38	1:24	1:37	1:49	1:41
日曜	1:54	1:54	2:23	2:01	1:48	1:23	1:53	2:07	2:05

年初めて2時間を切った。今年も、前年から視聴時間回復の傾向はみられなかった。

NHK・民放別には、NHK総計49分(前年51分)に対し、民放総計は1時間(前年1時間2分)であり、いずれも前年と同程度である。NHK総計の内訳をみると、総合7分、Eテレ(教育)40分、衛星計1分で、NHK視聴のうち約8割がEテレに充てられている。

性別・年齢別にテレビ総計の視聴時間をみて

みる(表2)。男女や年齢による大きな差はみられないが、過去2年との変化をみると2歳で視聴時間が減少傾向にある。NHK・民放別にみると、NHK総計の視聴時間は5・6歳が42分とやや短めである。逆に、民放総計は2歳が47分と短めで、3歳以上は1時間以上となっている。このNHK・民放別の、年齢による視聴時間の傾向はこれまでとほぼ変わらない。

次に、曜日別のテレビ総計の視聴時間をみ

ると(表3), 平日平均は1時間51分, 土曜はやや短く1時間39分, 日曜は1時間54分で、いずれも前年と同程度であった。年齢別にみると、2歳は、平日が土日に比べて長めなのに対し、4～6歳は日曜が平日に比べてやや長めである。これは、2歳児が平日のEテレの帯番組をよく見ており、4～6歳児は日曜の民放

人気アニメ番組などをよく見ていることによる。

曜日別のNHK・民放別視聴時間は図2のとおりである。平日はNHK総計と民放総計がそれぞれ1時間弱と同程度であるが、土曜・日曜はNHKが減り、民放がやや増え、特に日曜はNHK総計が18分に対して、民放総計が1時間37分と差が大きい。

図2 曜日別 NHK・民放別の平均視聴時間



表4 母親の視聴時間別にみた幼児の視聴時間 (テレビ総計, 週平均)

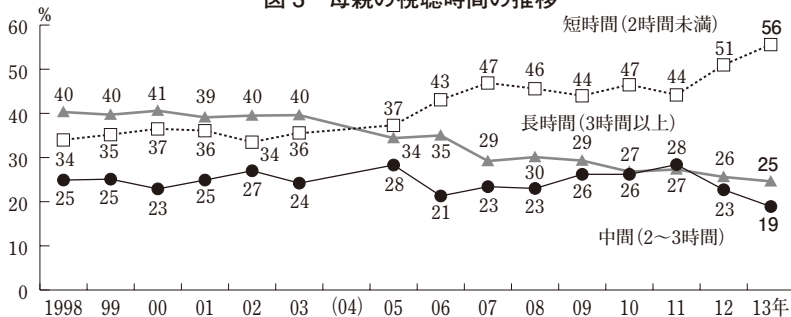
	(時間:分)			
	全体	短時間 (2時間未満)	中間 (2～3時間)	長時間 (3時間以上)
11年	2:07	1:23	2:12	3:12
12年	1:53	1:18	1:57	3:01
13年	1:49	1:16	2:04	2:56
13年のサンプル数		309人	105人	137人

## (2) 幼児と母親の視聴時間の関連

幼児のテレビ視聴に影響が大きい母親の視聴時間との関係をみていく。本調査では、付帯質問で母親の平日1日あたりのテレビ視聴時間を尋ねている。これまでの幼児視聴率調査などから、幼児の視聴時間は、母親の視聴時間やテレビの見せ方が影響しているという知見が得られている<sup>3)</sup>。今回の結果でも、母親の視聴時間が3時間以上の「長時間」層では、幼児の視聴時間は2時間56分と長めで、母親の視聴時間が2時間未満の「短時間」層は、幼児の視聴時間は1時間16分と短かった(表4)。

母親の視聴時間の長期推移をみると(図3), 「短時間」層はここ2年で増加し、今回は56%と半数を超えている。「中間」層(2時間以上3時間未満)は19%で、同じ2年前と比較すると減少している。一方「長時間」層は、長期的には漸減しているが、2007年ごろからは横ばいに推移し、今回も25%を占めている。ここ数年、幼児のテレビ視聴時間が減少傾向にあるが、その背景には短時間しかテレビを見ない母親が急増していることも考えられよう。

図3 母親の視聴時間の推移



### (3) もっともよく見るチャンネルはEテレ

次に、調査を実施した1週間に、少しでも(15分以上)テレビを見た幼児の割合(週間接触者率)をみてる(表5)。テレビ総計の週間接触者率は94.8%で前年(95.3%)と同程度である。局別にみると、Eテレが74.3%と最も高く、次いでフジテレビ、テレビ朝日、NTVである。年齢別にみると、NHK総計は各年

齢ともに80%以上とバランスよく接触している。また、どの年齢でもEテレの接触者率が高いが、4歳以上になると民放の接触者率が上がり、Eテレと民放との差が小さくなる。

2000年からの各局の週間接触者率の推移を表にしたのが表6である。前年と比べると、NTVが減少しており、前々年と比べると、唯一、総合が増加しているが、他の局はいずれも減少している。2000年からの推移をみると、TBSやテレビ東京は特に減少幅が大きい。Eテレは、2006年から8割前後の水準で推移していたが前年に減少し、今年も同程度となっている。

NHK・民放各局別の時間帯別平均視聴率(表7)をみると、Eテレは1日の平均で3.6%と最もよく見られ、午前(6.1%)と午後(3.4%)の時間帯によく見られている。一方、夜間はフジテレビ(2.7%)とNTV(2.1%)が高めである。

表5 局別週間接触者率(年齢別) (%)

	全体	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	94.8	92	93	98	95
NHK 総計	81.7	82	83	81	81
総合	31.3	27	33	29	35
Eテレ	74.3	78	76	75	69
NTV	48.9	47	45	51	52
朝日	56.5	41	53	62	65
TBS	24.3	22	24	29	21
東京	41.5	21	35	49	55
フジ	61.3	44	57	71	68

表6 局別週間接触者率の推移 (%)

	2000	01	02	03	05	06	07	08	09	10	11	12	13年
総合	35	32	38	30	28	29	24	30	24	25	24	30	31
Eテレ	90	85	89	88	84	78	80	80	81	77	81	73	74
NTV	71	64	69	71	62	65	57	54	54	55	54	58	49
朝日	80	82	80	79	78	75	69	66	71	62	69	57	57
TBS	59	60	66	54	54	58	44	47	39	37	34	28	24
東京	86	83	82	78	75	68	61	63	66	59	55	47	42
フジ	72	81	79	79	75	74	74	77	76	67	69	64	61

(整数値で比較)

表7 局別時間帯別平均視聴率(週平均) (%)

* 時間帯	総合			Eテレ			NTV			朝日			TBS			東京			フジ		
	11	12	13	11	12	13	11	12	13	11	12	13	11	12	13	11	12	13	11	12	13年
午前	0.3	0.9	0.8	6.9	6.2	6.1	0.8	1.2	0.9	1.1	0.6	0.7	0.4	0.4	0.3	1.2	0.8	0.7	1.0	1.0	1.4
午後	0.2	0.2	0.3	4.2	3.4	3.4	0.7	0.6	0.7	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	0.4	0.4
夜間	0.5	0.7	0.6	1.5	1.4	1.2	2.6	2.2	2.1	1.9	2.0	1.7	1.0	0.5	0.6	1.6	1.5	0.9	3.7	2.9	2.7
1日	0.3	0.6	0.6	4.3	3.8	3.6	1.3	1.3	1.2	1.1	0.9	0.8	0.6	0.3	0.3	1.0	0.8	0.6	1.7	1.4	1.5

\* 午前：前5:00～後0:00 午後：後0:00～後6:00 夜間：後6:00～前0:00 1日：前5:00～前0:00

#### (4) 高位番組の視聴率は減少傾向

NHK・民放全体で幼児によく見られた番組は、フジテレビ「サザエさん」(34.0%)、Eテレ「おかあさんといっしょ」(29.1%)、テレビ朝日「ドラえもん」(28.9%)などで(表8)、番組のラインナップは前年とほぼ同じである。過去

表8 NHK・民放でよく見られている番組  
(放送時間10分以上) (%)

曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
日	後6:30	フジ	サザエさん	34.0
月	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	29.1
金	後7:00	朝日	ドラえもん	28.9
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	27.5
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	26.9
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	25.7
土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	25.2
金	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	24.4
土	前8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	23.4
日	前8:30	朝日	ドキドキ!プリキュア	23.2

#は帯番組で視聴率が最も高い曜日の数値(以下同様)

の高位番組の視聴率と比較すると、2009年以前(2007年を除く)は高位に40%以上の番組があったが、視聴率が徐々に減少し、今回は30%以上の番組が「サザエさん」1本のみとなっている。なお、日曜日では、テレビ朝日で午前6時30分～9時まで放送されている子ども向け番組が、全米ゴルフ中継で(前5:30～)午前8時30分まで休止となった。前年とゴルフ中継の放送時間が異なることもあり<sup>4)</sup>、中継終了後の午前8:30の「ドキドキ!プリキュア」が今年にはよく見られた。

#### (5) 2歳によく見られているEテレ

年齢別によく見られた番組を比べたのが表9である。2歳は、Eテレの平日朝夕と土曜朝の番組をよく見ている。3歳になると民放の番組が増えてきて、4歳以上では上位10番組の

表9 NHK・民放でよく見られている番組(年齢別)(放送時間10分以上)

2歳					3歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
月	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	34	日	後6:30	フジ	サザエさん	34
水	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	28	月	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	32
月	前8:25	Eテレ #	いないいないばあ!	27	土	前8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	29
月	後5:00	Eテレ #	みいつけた!	26	土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	29
土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	26	土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	29
月	後5:30	Eテレ #	アニメ はなかつぱ	25	日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	27
土	前8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	25	金	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	27
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	25	日	前8:30	朝日	ドキドキ!プリキュア	24
月	後5:40	Eテレ #	キッチン戦隊クックルン	25	月	前8:25	Eテレ #	いないいないばあ!	23
日	後6:30	フジ	サザエさん	25	金	後7:00	朝日	ドラえもん	22

4歳					5・6歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
金	後7:00	朝日	ドラえもん	39	日	後6:30	フジ	サザエさん	40
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	38	金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	34
日	後6:30	フジ	サザエさん	36	金	後7:00	朝日	ドラえもん	33
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	30	日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	28
火	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	29	月	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	28
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	28	日	前8:30	朝日	ドキドキ!プリキュア	28
土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	26	月	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	22
金	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	25	土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	22
日	前8:30	朝日	ドキドキ!プリキュア	24	月	前7:15	Eテレ #	アニメ はなかつぱ	21
火	前8:25	Eテレ #	いないいないばあ!	24	土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	21

■ Eテレの番組

うち民放が上位を占めてくる。この傾向は例年と変わらない。すべての年齢で上位10番組の中に入っているのは、フジテレビの「サザエさん」、Eテレの平日朝の「おかあさんといっしょ」、「みいつけた!」のほか、土曜朝の「アニメ おさるのジョージ」と新番組「ムジカ・ピッコリーノ」である。4歳以上では、このほか、テレビ朝日の「ドラえもん」、「クレヨンしんちゃん」、フジテレビの「ちびまる子ちゃん」なども上位にあがっている。

## 2. NHK テレビの視聴状況

### (1) よく見られている朝8時前後の番組

Eテレでよく見られた番組は表10のとおりである。「おかあさんといっしょ」「アニメ おさるのジョージ」「ムジカ・ピッコリーノ」「みいつけた!」など平日・土曜の午前8時前後の番組が

上位となっている。このほか「アニメ はなかつぱ」など、平日午後5時台後半の番組もよく見られている。これら上位のラインナップは前年とほぼ同じであるが、視聴率は全体的にこれまでと比べて低めで、今回、Eテレで最もよく見られた「おかあさんといっしょ」も初めて30%を切った。

表10 Eテレでよく見られている番組  
(放送時間10分以上)

曜日	放送時刻	番組名	視聴率 (%)
月	前8:01	# おかあさんといっしょ	29.1
土	前8:35	アニメ おさるのジョージ	25.7
土	前8:25	ムジカ・ピッコリーノ	25.2
金	前7:45	# みいつけた!	24.4
土	前8:00	おかあさんといっしょ土曜日	23.4
月	前8:25	# いないないばあ!	22.3
月	後5:30	# アニメ はなかつぱ	20.0
月	後5:40	# キッチン戦隊クックルン	19.7
月水	後5:50	# フックブックロー	19.4
水	前7:35	# えいごであそぼ	19.1

表11 平日・朝の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

( ) は前年の同時時間同番組の視聴率, < > は前年の同時時間帯の視聴率 (以下同様) (%)

放送時刻	番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前6:35	ビタゴラスイッチ ミニ	3.6 (3.2)*1	3	4	5	3	4	4
前6:40	てれび絵本	3.6 (3.2)*1	3	4	5	3	4	4
前6:45	すすめ!キッチン戦隊クックルン	9.3 (6.1)*2	8	10	10	7	10	10
前6:55	Eテレ 0655	9.3 (6.1)	8	10	10	7	10	10
前7:00	シャキーン!	15.7 (14.9)	13	18	13	16	16	17
前7:15	アニメ はなかつぱ	16.3 (18.1)	14	19	13	15	18	19
前7:25	フックブックロー	17.3 (20.0)*3	16	19	16	16	18	19
前7:35	えいごであそぼ	18.2 (21.9)*4	17	19	19	18	18	19
前7:45	みいつけた!	23.2 (26.4)	22	24	25	24	23	21
前8:01	おかあさんといっしょ	27.8 (30.9)	25	30	30	30	27	26
前8:25	いないないばあ!	20.8 (24.4)	18	24	24	21	22	17
前8:40	にほんごであそぼ	14.5 (17.5)*5	12	17	20	14	15	11
前8:50	プチプチ・アニメ	11.0 (13.7)*6	9	13	18	12	10	7
前8:55	ミニアニメ	11.0 (13.7)*7	9	13	18	12	10	7

■ は全体より統計的に高い, □ は低い (以下同様)

※前年の同時時間帯視聴率 < > 内のうち、今年と前年で番組の開始時間などが異なる場合は、前年同時時間帯の番組視聴率から計算 (以下同様)

\*1 前年は「フックブックロー」前6:35~6:45 \*2 前年は「クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!」

\*3 前年は「ビタゴラスイッチミニ」(18.1%) 前7:25~7:30、「にほんごであそぼ」(21.9%) 前7:30~7:40

\*4 前年は「にほんごであそぼ」(21.9%) 前7:30~7:40、「アニメ うっかりベネロベ」(21.9%) 前7:40~7:45

\*5 前年は「プチプチアニメ」(21.3%) 前8:40~8:45、「えいごであそぼ」(13.7%) 前8:45~8:55

\*6 前年は「えいごであそぼ」前8:45~8:55 \*7 前年は「てれび絵本」

総合テレビで最もよく見られた番組は、午前8時放送の「連続テレビ小説・あまちゃん」(6.8%)で、前年の「梅ちゃん先生」(6.4%)と並び、2年連続で朝の連続テレビ小説が幼児によく見られた。また、BSプレミアムで最もよく見られた番組は、2013年度の新番組「おとうさんといっしょ」(日曜前8:00)で視聴率は3.1%であった。

## (2) Eテレの幼児・子どもゾーン

Eテレの平日朝の主な番組の視聴率は表11のとおりである。午前6:35に始まる「ピタゴラスイッチ ミニ」からEテレの視聴率は伸び始め、午前6:45の新番組「すすめ!キッチン戦隊クックルン」は9.3%になっている。午前7時の「シャキーン!」以降の番組は視聴率が徐々に上

表 12 土曜・日曜 朝の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

		(%)								
曜日	放送時刻	番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	
土	前6:35	いじめをノックアウト	0.9	<1.5>*1	1	1	2	0	1	1
	前6:45	しぜんとあそぼ	1.4	(1.7)	2	1	2	1	1	1
	前7:00	デザインあ	6.3	(4.9)	6	6	5	6	9	4
	前7:15	モリゾー・キッコロ 森へいこうよ!	7.4	(5.7)	8	7	6	9	10	4
	前7:30	ノージーのひらめき工房	12.9	<10.4>*2	15	11	11	18	14	9
	前7:45	ピタゴラスイッチ	16.4	(12.1)	18	15	16	21	17	11
	前8:00	おかあさんといっしょ土曜日	23.4	(25.0)	25	22	25	29	21	19
	前8:25	ムジカ・ピッコリーノ	25.2	<26.8>*3	26	24	26	29	26	21
	前8:35	アニメ おさるのジョージ	25.7	(27.8)	27	24	25	29	28	22
	前9:00	アニメ ひつじのショーン	16.0	(15.0)	19	13	14	16	22	12
日	前9:20	アニメ はなかつぱ	14.0	<11.4>*4	17	12	11	14	21	9
	前7:00	きかんしゃトーマス	7.1	(8.0)	7	8	8	10	6	6
	前7:20	アニメおしりかじり虫	7.9	<9.3>*5	7	9	10	11	6	6
	前7:25	みいつけた!さん	9.0	(6.6)	8	10	14	11	6	6

\*1 前年は「メディアのめ」 \*2 前年は「つくってあそぼ」 \*3 前年は「クインテット」 \*4 前年は「リトルチャロ東北編」  
\*5 前年は「アニメ ミニスキュル」

表 13 平日・夕方主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

		(%)							
放送時刻	番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	
後4:00	みんなのうた	6.9	(7.4)	6	8	10	8	6	4
後4:05	えいごであそぼ	6.9	(7.4)	6	8	10	8	6	4
後4:15	水金/ニャンちゅうワールド放送局ミニ	7.9	<8.6>*1	7	9	11	10	8	4
	火木/デザインあ5分版	8.7	<8.6>*1	8	9	13	10	8	6
後4:20	いないいないばあっ!	9.5	(9.8)	8	11	15	11	9	5
後4:36	おかあさんといっしょ	11.2	(11.0)	10	13	19	13	10	6
後5:00	みいつけた!	15.2	(14.9)	14	16	22	18	14	9
後5:15	にほんごであそぼ	15.2	(15.2)	14	16	19	17	17	10
後5:25	ピタゴラスイッチ ミニ	15.2	(15.2)	14	16	19	17	17	10
後5:30	アニメ はなかつぱ	18.9	(16.7)	18	19	23	17	20	17
後5:40	すすめ!キッチン戦隊クックルン	18.6	<16.6>*2	18	20	22	16	19	18
後5:50	フックブクロー	18.2	(16.6)	17	20	22	16	19	18
後6:00	アニメ おじゃる丸	13.4	(13.8)	13	14	11	12	13	17
後6:10	アニメ 忍たま乱太郎	12.0	(12.7)	11	13	9	11	12	16
後6:20	(月~木) 大!天才てれびくん	7.2	(7.7)	7	7	4	6	7	11
後6:20	(金) ビットワールド	8.4	(8.3)	9	8	5	7	8	12

\*1 前年は「つくってワクワク」 \*2 前年は「クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!」

昇し、午前7:45の「みいつけた!」からは20%を超え、午前8:01の「おかあさんといっしょ」は27.8%に達する。前年と比べると、午前6:45の「すすめ!キッチン戦隊クックルン」と、その後の「Eテレ0655」は視聴率が増加している。

土曜・日曜の朝の番組視聴率をみると(表12)、土曜は午前8:35の「アニメ おさるのジョージ」、その直前の「ムジカ・ピッコリーノ」(前8:25)、「おかあさんといっしょ土曜日」(前8:00)など午前8時台の番組が25%前後と高く、どの年齢にもバランスよく見られている。日曜も午前7時台の幼児・子どもゾーンが堅調で、「みいつけた!さん」(前7:25)は2歳によく見られている。

Eテレの平日夕方方の主な番組視聴率をみると(表13)、午後4時から徐々に視聴率が増加し、午後5時台後半の番組がよく見られている。年齢別にみると、2歳で午後4:20の「いないいないばあっ!」以降、「おかあさんといっしょ」、「みいつけた!」が全体に比べて高く、5・6歳では、午後4時台～5時台前半の番組の視聴率が低くなっている。午後6:20の「大!天才てれびくん」(月～木)は、おもに小学生を対象にした番組であるが5・6歳にもよく見られている。

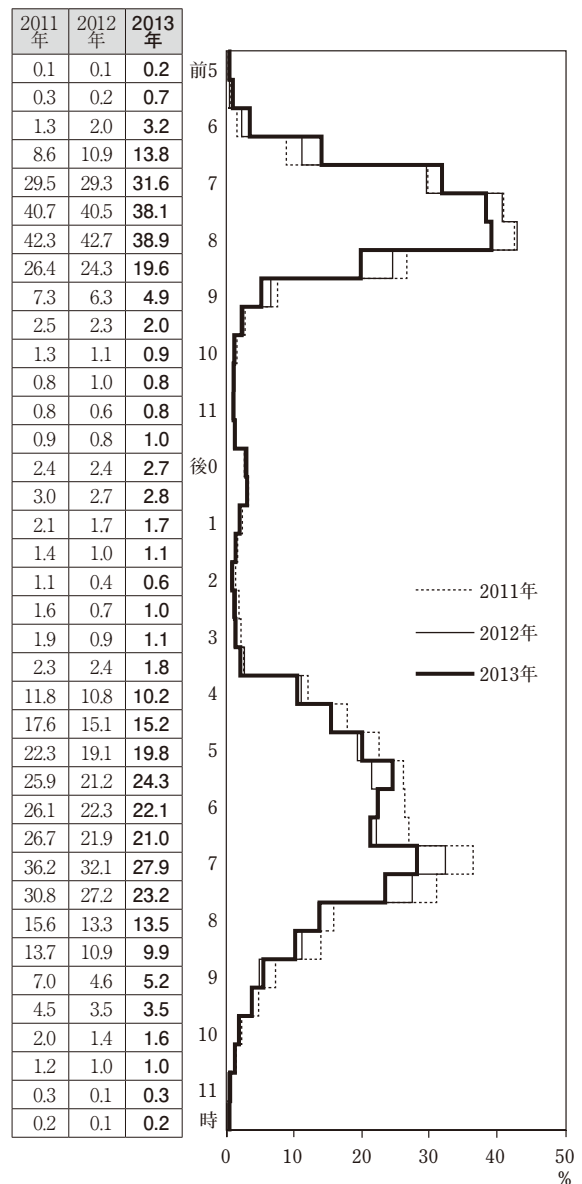
### 3. 変化している朝夕のテレビ視聴

#### (1) 朝は6時台で増加傾向

##### 夕方から夜間は減少傾向

幼児の平日1日のテレビ視聴状況を30分ごとに時間を追って、平均視聴率をグラフにしたものが図4である。幼児がテレビをよく見ている時間は、午前6時30分～9時と、午後4時～8時30分である。この時間帯は朝夕ともに幼児・子ども向けの番組やアニメ番組などが多

図4 テレビ総計の30分ごとの平均視聴率(平日)



く放送されており、この視聴傾向はこれまでと変わらない。しかし、朝の時間帯では、前々年と比較して午前6時台の視聴率が増加している。局別にみると、Eテレが2011年に放送を始めた午前6時台後半の幼児・子ども向け番組の視聴率が好調なほか、総合や民放地上波計でも前々年以降視聴率が漸増している。



一方、夕方から夜間は、前々年と比較すると午後6時30分～8時と午後8時30分～9時で視聴率が減少している。

## (2) 幼児の生活時間と視聴時間の変化

変化が起きている“朝”と“夕方から夜間”の時間帯の視聴率について、もう少し長期で推移をみたい。まず朝、午前6時台～8時台の1時間ごとの平均視聴率を2001年からグラフにしたのが図5である。2001年は午前8時台が最もよく見られているが、徐々に視聴率が減少し、2007年に午前8時台と午前7時台の視聴率が同率になる。その後は安定して推移していたが、今回は午前8時台で減少傾向がみられた。また、午前6時台は2001年から3～4%台で推移していたが、前述のとおりEテレをはじめ、

テレビ総計の視聴が伸びており、前年は6.4%、今回8.5%と増加しつつある。

「2013年幼児生活時間調査」(対象は0歳4か月～6歳の未就学児)によると、10年前の2003年と比べて早寝早起きの幼児が増えていることが報告されている<sup>5)</sup>。調査結果によると、平日の朝7時までに起床している幼児の割合が、2003年は幼児全体の32.1%であったのに対し、2013年では50.7%と増加している。また、平日の午前9時に幼児が幼稚園や保育園にいる割合は、2003年は幼児全体の41.5%であったのに対し、2013年は53.2%と増えている。つまり、幼児が早起きになり、また早い時間に幼稚園や保育園に行っている割合も増えたことで、朝8時台に自宅でテレビを見られる環境にある幼児の割合が減っていることになる。

こういった幼児の生活時間の変化にともない、幼児向け番組の編成も変えてきた。平日の午前6時台後半から幼児向け番組が放送されるようになったこともあり、テレビ視聴の時間帯が徐々に早朝化していると考えられる。

続いて夕方から夜間の長期推移をみる(図6)。同じく2001年から午後5時台～8時台の1時間ごとの平均視聴率をみると、最もよく見られている時間帯が午後7時台であり、次いで午後6時台、

図5 テレビ総計 1時間ごとの平均視聴率の推移 (平日・午前6時台～8時台)

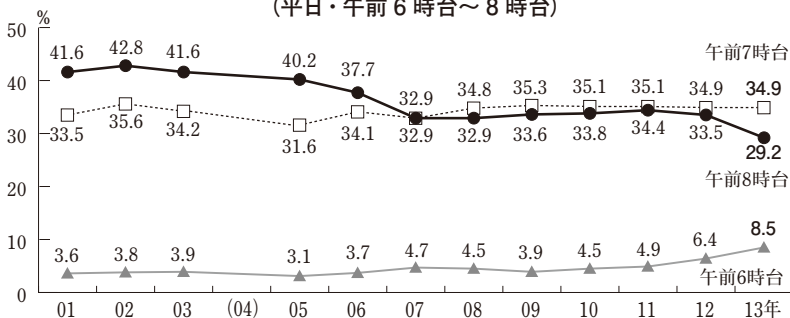
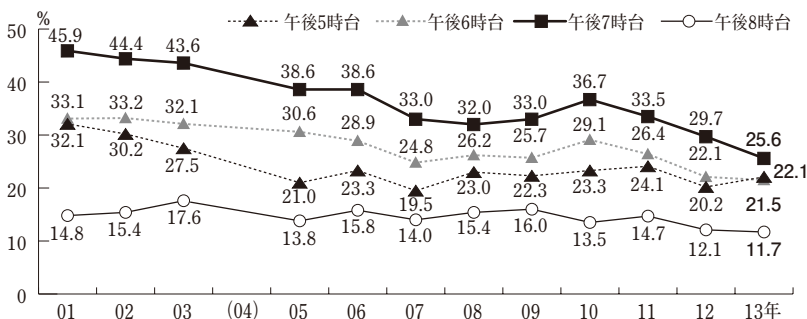


図6 テレビ総計 1時間ごとの平均視聴率の推移 (平日・午後5時台～8時台)



午後5時台という傾向は変わらないが、いずれの時間も視聴率は減少傾向で、特に午後7時台で減少幅が大きい。2001年ごろは、平日午後7時台に子ども向けの人気アニメ番組が民放で複数放送されており、この時間帯の視聴率が40%台に達している。その後、この時間の民放のアニメ番組の本数が徐々に減り、また、同じ人気アニメ番組でも視聴率が低下してきていることなどから、午後7時台の視聴率は減少していく<sup>6)</sup>。2010年に一旦回復するものの、長期的に減少傾向が続いており、今回は25.6%まで下がっている。

## 4. 録画番組とDVDの利用状況

### (1) 増える録画番組・DVDの再生利用

ここまで、テレビ視聴状況をみてきたが、本

章からは録画番組と市販DVDやビデオの利用状況を紹介する。なお、テレビ視聴同様、今回から家族で移動中などの視聴も含めて記入してもらっている。

1週間に少しでも録画番組やDVDを見た幼児(週間接触者率)は83.5%で、前年(81.6%)と同程度である。しかし、長期推移をみると、2011年以降は80%を超えて、今回はこれまでで最も高くなっている(図7)。テレビへの接触者率が2009年以降漸減傾向であるのに対し、録画DVD再生はここ数年で増加している。

次に再生時間をみると、1日あたりの録画DVD再生時間(利用していない幼児も含む)は52分であった(表14)。年齢別にみると、例年、低年齢の幼児で利用時間が長い傾向があり、今回は2歳で1時間5分と、初めて1時間を超えた。

図7 テレビ総計・録画DVD再生の週間接触者率の推移

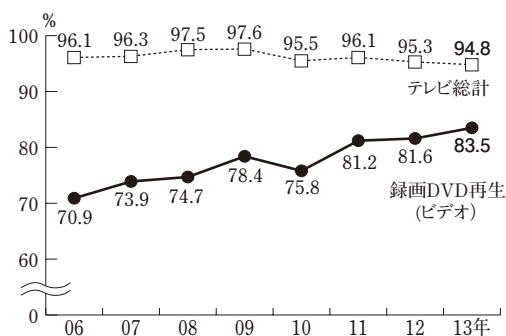


図8 曜日別録画DVD再生時間とテレビ視聴時間(1日、週平均)



表14 録画DVD再生時間(1日、週平均)

年	(時間:分)									
	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	幼稚園児	保育園児	未就園児
11年	0:40	0:41	0:40	0:49	0:41	0:34	0:39	0:34	0:41	0:54
12年	0:46	0:49	0:42	0:58	0:48	0:44	0:36	0:40	0:46	1:00
13年	0:52	0:55	0:49	1:05	0:50	0:46	0:50	0:51	0:46	1:14

曜日別に録画DVD再生時間をみると(図8), 土曜・日曜はともに1時間5分と、平日(47分)と比べて長めである。日曜は前年(51分)と比べて長くなっている。テレビ視聴時間と録画DVD再生時間を合わせた1日のトータルの視聴時間に占める割合をみると、平日は録画DVD再生

が3割を占めるのに対し、土日は4割程度と高めである。

録画DVD再生の30分ごとの平均利用率をみると(図9), 平日よく利用されているのは午後4時~9時である。土曜・日曜は午前と夕方利用の山があるが、昼の時間帯も5%前後と

図9 録画DVD再生の30分ごとの平均利用率(平日・土曜・日曜)

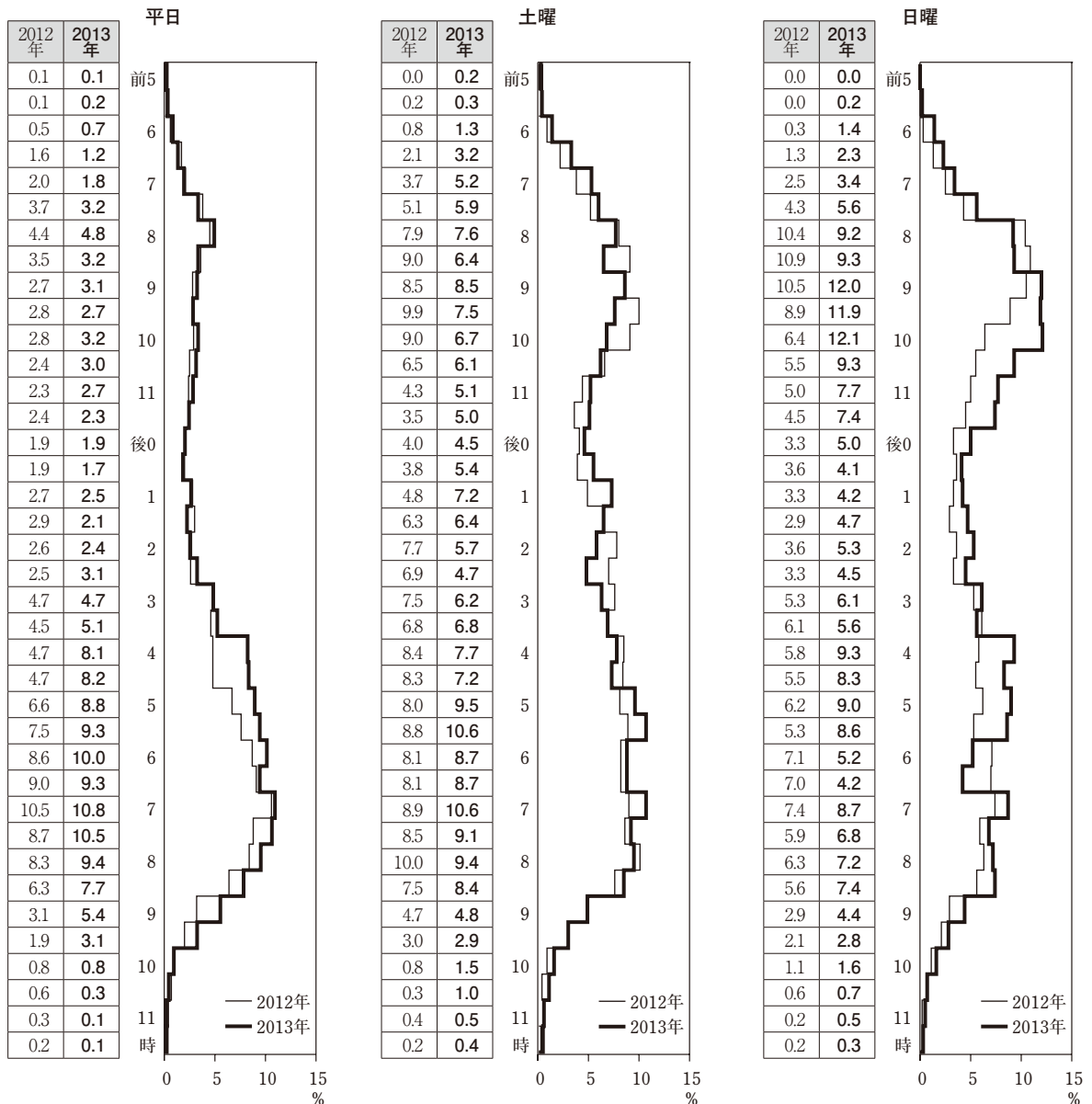


図10 テレビ視聴時間と録画DVD再生時間の推移  
(1日、週平均)

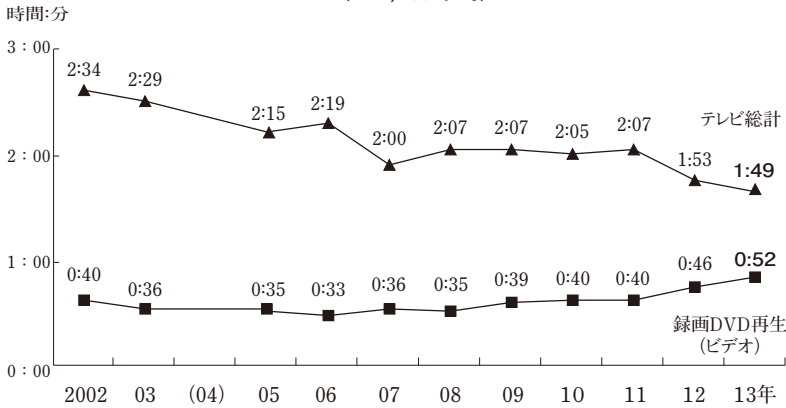
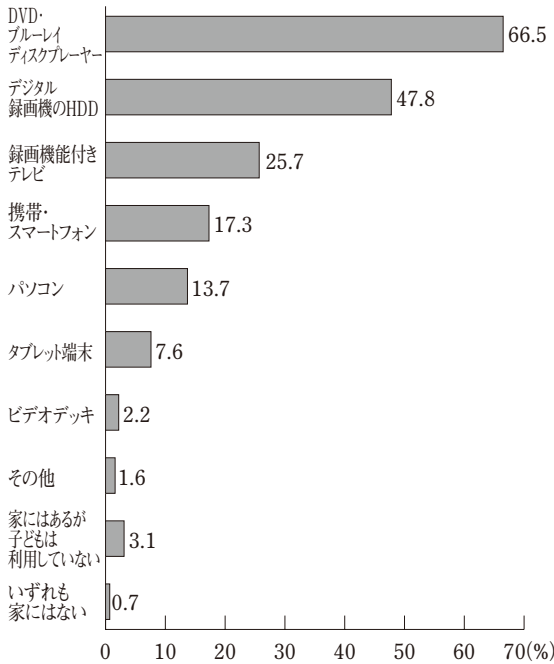


図11 多く利用する録画再生機器(複数回答)



一定の利用がある。前年と比べると、平日は午後4時台で利用が増えているほか、日曜は午前、夕方ともに利用が増えている時間帯が多い。

テレビ視聴時間と録画DVD再生時間の長期推移をグラフにしたのが図10である。テレ

ビ視聴時間は、2002年から徐々に減少し、2008年ごろから2011年までは横ばいである。また、録画DVD再生は、2002年以降2011年まではほぼ横ばいであった。しかし、前年からテレビ視聴時間が減少し、一方で録画DVD再生時間が増加傾向で、両者の差が狭まりつつある。これは、デ

ジタル録画再生機器の普及により録画番組やDVDなどの利用が幼児にとっても容易になっていることが背景として考えられる。

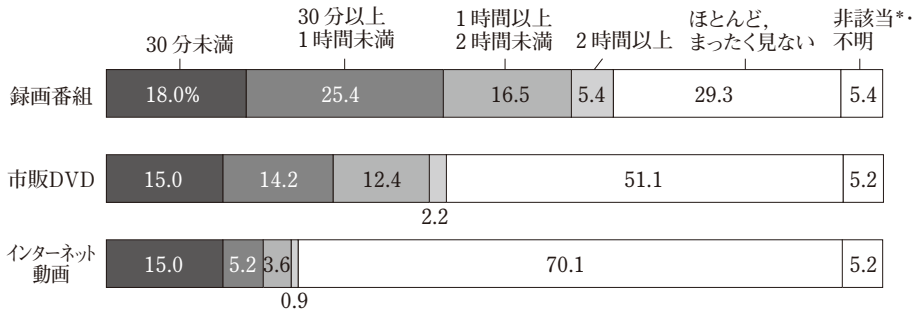
## (2) 多く利用している録画機器

付帯質問で、幼児が録画番組や市販DVD、インターネット動画などを見るときに多く利用する機器を複数回答で尋ねた(図11)。最も多いのは「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」(66.5%)、続いて「デジタル録画機のハードディスク(HDD)」(47.8%)、「録画機能付きテレビ」(25.7%)が多く利用されている。「携帯・スマートフォン」は17.3%、「パソコン」は13.7%、「タブレット端末」は7.6%であった<sup>7)</sup>。

## (3) 録画番組・DVD・動画の再生利用

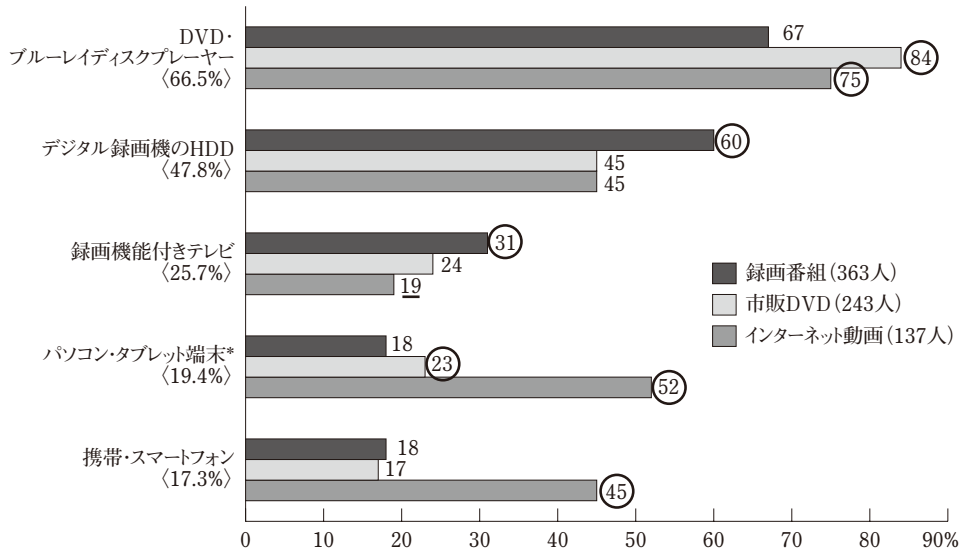
同様に付帯質問で、休日をのぞくふだんの日1日に「録画した番組」と「市販DVD(ビデオ)」、「インターネット動画」をそれぞれどのくらい再生して見ているかを尋ねた(図12)。録画番組を見る幼児は、30分未満から2時間以上まで合わせて65.3%、市販やレンタルのDVDやビデオを見る幼児は43.8%と、録画

図 12 録画番組・市販 DVD・インターネット動画の再生時間の分布



\*非該当は録画再生機器が「家にはあるが子どもは利用していない」と「いずれも家にはない」の回答者

図 13 多く利用する録画再生機器  
(録画番組・市販 DVD・インターネット動画利用者別)



〈 〉は全体の割合、○は全体に比べて統計的に高い、□は全体に比べて統計的に低い  
\*パソコンまたはタブレット端末を利用する人 (利用している録画機器は複数回答)

番組を見る幼児の方が多い。また、インターネット動画を見る幼児は24.7%で、録画番組やDVDに比べるとまだ利用が少ないが、4人に1人は見ていることがわかる。それぞれの再生時間をみると、30分未満の利用者はいずれも15%程度であるが、30分以上の利用者は録画番組で多い。インターネット動画の利用は、再生時間の分布をみても30分未満が多く、短めである。

また「録画番組」「市販のDVD」「インターネット動画」の利用者別に、利用している録画再生機器に違いがあるかをみた(図13)。録画番組を見る幼児は「デジタル録画機のハードディスク(HDD)」や「録画機能付きテレビ」の利用が全体に比べて多く、市販のDVDを見る幼児は「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」と「パソコン・タブレット端末」の利用が全体に比べて多い。また、インターネット動画を見

る幼児では、「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」、「パソコン・タブレット端末」、「携帯・スマートフォン」の利用が多く、再生するものごとに、録画再生機器の利用に違いがある可能性が考えられる。

## まとめ

ここ数年安定していた幼児のテレビ視聴時間が、前年初めて2時間を切り1時間53分となった。今回も1時間49分と、視聴時間回復の傾向はみられていない。

視聴している時間にも変化がみられる。平日朝の視聴は、幼児の早寝早起き化が増えていることなどを背景に、午前6時台からと早まり、かつて視聴が最も高かった午前8時台では減少傾向がみられる。また、平日の夕方から夜にかけては長期的に視聴が減少しており、特に夜7時台では減少幅が大きい。

幼児のテレビ視聴時間減少の背景には、幼児のテレビ視聴への影響が大きい母親で、短時間しかテレビを見ない人が急速に増えていることや、録画番組やDVD再生が、接触者率・利用時間ともに増加傾向であることが考えられる。デジタル録画機器の普及にともない、自宅での番組録画が簡易になったほか、車載のモニターやスマートフォンなどで外出先でも再生利用が増えていると思われる。今後、この録画番組の再生利用の伸長と、テレビのリアルタイム視聴との関係性がどのようになっていくか、注視していきたい。

(あんらく ゆりこ)

注:

- 1) 執行文字 / 西久美子 / 舟越雅 / 諸藤絵美 「テレビ・ラジオ視聴の現況～2013年6月全国個人視聴率調査から～」『放送研究と調査』2013年9月号
- 2) 前年までは「ビデオ・HDD・DVDの再生」という選択肢で、報告上は「ビデオ再生」と表記。今回からは選択肢を「録画番組やDVDの再生」と改め、報告上は「録画DVD再生」としている。
- 3) 白石信子 「幼児で高い夕方のテレビ視聴～2000年7月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2000年11月号など
- 4) 2012年は午前8:00～11:00で中継放送のため、前8:00～9:00の子ども向け定時番組が休止となった。
- 5) 「2013年幼児生活時間調査」2013年3月、首都圏に住む0歳（4か月）～就学前の幼児1,500人を調査相手にNHK放送文化研究所が実施。<http://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/> 参照。詳細は『放送研究と調査』2013年11月号に掲載予定。
- 6) 2001年の高位番組をみると、平日午後7時台の番組ではテレビ東京の「ポケットモンスター」49.1%（木曜後7:00）と、「ポケットモンスターアンコール」44.2%（火曜後7:00）、テレビ朝日の「ドラえもん」48.7%（金曜後7:00）と「クレヨンしんちゃん」44.3%（金曜後7:30）の4番組がよく見られていた。今回の高位番組のうち、平日午後7時台の番組は、テレビ朝日の「ドラえもん」28.9%（金曜後7:00）と、「クレヨンしんちゃん」27.5%（金曜後7:30）の2番組である。
- 7) 前年は単一回答で尋ねており、選択肢も異なるため、時系列比較はできない。